

香美市のよってたかって教育

～よってたかって地域を創る子どもの育成～

地域の
特色ある
活動

高知県香美市教育委員会

1 はじめに

高知県香美市は、平成 18 年 3 月に旧土佐山田町、旧香北町、旧物部村が合併し、設立されました。本市は、高知県の東北部、高知市から東に 12km 程の所に位置し、高知龍馬空港や南国 IC から 15 分以内で、利便性の高い場所にあります。少子化や高齢化が進行し、人口減少が大きな課題となっています。

児童生徒の減少から、平成 25 年に 3 小中学校を休校とし、現在市内には小学校 7 校、中学校 3 校あり、約 1,600 人の小中学校生が



<香美市の位置>

在籍しています。学びの環境として、本市には、高知市とともに大学（高知工科大学）のある街として県内外から多くの学

生を迎えることができます。また、市内には保育園が 6 園、私立幼稚園 2 園、県立高等学校や特別支援学校もありますので、就学前教育から大学までの一貫教育をすすめることができる地域でもあります。

2 よってたかって地域が育てる教育

香美市の教育は、「キャリア教育」を中心に据えながら取り組んできました。平成 25 年度から 3 年間県教育委員会の地域指定を受け、香美市キャリア教育推進会議を発足。市内在住の方や各分野での専門家の方々による

会議を年間 5 回程度 3 年間重ねて参りました。

「よってたかって地域が育てる教育」という言葉は、この会で生まれたものです。当時「キャリア教育」という言葉は馴染みが薄く、香美市のキャリア教育を分かりやすく表現するために生み出された言葉が、「よってたかって地域が育てる教育」でした。インパクトがある言葉として地域に広がり、今では市議会でも定着をしてきました。この言葉には、多くの市民の参画によって、香美市の教育を創ってほしいという強い願いがあります。また、子供たちにも相互に関係を深めながら、自らの主体的な活動によって、地域を元気にしてほしいという願いが込められています。

(1) 香美市の基本理念

郷土を愛し、未来を拓く人づくり

香美市はこの基本理念に基づき、

<めざす人像>

- 主体的でチャレンジ精神を持つ人
- 様々なつながりで学び、協働できる人
- 学びから新しいものを生み出す意欲を持ち行動する人
- 郷土に愛着を持つ人

を設定し、ここに向けて

- 15 年を見通した「めざす子どもの姿」
(キャリア教育：育ちの一覧表)
- ・主体的に何事にも挑戦する子
 - ・様々なつながりをつくり、協働できる子
 - ・郷土を愛する子

という学校教育でめざす子供の姿を設定しました。

(2) 香美市の「よってたかって教育」の具体

香美市の状況を踏まえ、「よってたかって教育」を進めていくために、次のようなことを取り組んできました。

①学校と地域との連携

市内全小中学校（10校）では地域学校協働本部の活動が活発で、今年度のべ4,400人以上の地域の方々が関わってくれています。そこには、校内の学習だけでなく、生活科や総合的な学習の時間などの校外の学習でもたくさんの方々の支援が見られます。また、学習支援には、高知工科大学の学生の方々も関わってくれています。

②探究的な学習と地域の関わり

香美市では探究的な学習による授業改善に取り組んでおり、生活科や総合的な学習の時間では、積極的に地域に出て行く機会を多く設けています。その中で、子供たちが香美市の食材を使った名物料理のレシピを考え出し、地元の企業と連携し、試行錯誤しながら商品化につなげました。その商品を地元の商店街や山田高校の文化祭で販売し、大評判になりました。



〈文化祭での販売ブース。子供たちの手作りのレシピや地域の方の感想を掲示しています。〉

また、香美市にたくさんの観光客を呼び込み、地域を活性化させようと、生徒が市内の名所をめぐる観光ツアーを企画。実際に観光協会の方や行政の方にアドバイスをいただき、実行につなげた実践など、地域に視点をあてた取組も多く見られました。

さらに、香美市をこれからも自然豊かな地域として残していくために、身近なことからCO₂排出削減に取り組む実践もありました。地元の量販店や市役所の方に聞き取りを行い、アドバイスをいただき、実験し、出た結

論を地域の方たちにフィードバックしていく活動も行ってきました。



〈市役所での聞き取りとリーフレット配布〉

③地域とともに歩む学校

地域の方が学校の支援をするばかりでは、地域が疲弊していきます。香美市では、児童生徒が地域の行事に積極的にに関わり、地域を活性化している実践もあります。その代表的な実践が、「物部っ子祭り」です。

「物部っ子祭り」は、過疎化により元気がなくなった地元の商店街を自分たちの力で活性化させようと、中学生が企画し、それを保育園・小学校にも広げ、地域の商店街と協働して開催した祭りです。

子供たちのパフォーマンスや空き店舗をお借りして商品販売をし、地域学校協働本部をはじめ地域の様々な方々と一緒に、地域を元気に盛り上げました。

3 終わりに

香美市はいろいろな方々が「よってたかって」子供を育てる姿も見られるようになりました。地域とともに子供たちが育ち、その子供たちが未来の香美市を拓いていってもらえるよう願っています。そのために、香美市が大学のある街として、就学前から大人まで学び続けることのできる人の育成をめざして、これからも取り組んでいきたいと考えています。



教育長
時久恵子